「交通工学研究発表会」投稿論文の原稿書式見本

東都大学大学院　学生会員　○坂本竜馬
*西京大学工学部　正会員　勝　海舟
(株)アトランティックコンサルタンツ　正会員　明智光秀
JL 南日本(株)　前田利家

1．はじめに

本稿は「交通工学研究発表会論文集」への投稿論文の作成にあたって留意すべき点をまとめたものである。論文集のCD-ROM移行（第 29 回～）、Web審査システムの導入（第 30 回～）、発表件数制限の撤廃とページ数上限の緩和（第 31 回～）に伴い、書式と原稿提出方法が変更されているため、「募集要項」と本書式見本を熟読の上、作業を進められたい。

本書式見本はMicrosoft Wordのdoc形式のファイル[*1]とPDF形式のファイルとして提供されている。Wordファイルのほう自体を修正して原稿を執筆して頂いても結構である。その他の環境で作成される場合は、以下に示す書式に則って作成して頂きたい。

2．原稿の書式

原稿は日本語または英語に限る。日本語原稿は以下の書式に従って作成のこと。

用紙サイズ：　A4 判とする。

ページ数：　4 ページを原則とする。ただし、最大 8 ページまで受け付ける。

余白・字数：　各ページ上下各 19mm、左右各 20mm のマージンをとる。字数は 25 文字×2 段×48 行とし、段の間隔は 2 文字とする。

論文題目：　1ページ目の第1行に中央寄せして記載する。フォントはゴシック体・12 ポイントを標準とする。
投稿論文はそれ自体が独立した 1 編の論文でなければならず、題目（副題を含む）に「その 1」、「その 2」などと付けることは認められない。

著　　者：　表題の下を 1 行空けた次の行から、右寄せで、1 人 1 行として、所属、会員種別、氏名の順で記載する。発表予定者には氏名の前に○印、本原稿に対する連絡を受け付ける者には所属の前に*印を付ける。

本　　文：　氏名の最終行から 1 行空けて本文を開始する。フォントは明朝体・10 ポイントを標準とする。

キーワード：　発表申込時に Web 上の「申込内容の入力」画面で入力するものと同じキーワード（最大 5 つ）を、1 ページ目最下部に、本文との仕切り線を入れて記載する。

連絡先：　1 ページ目最下部のキーワードの下に、著者のうち*印を付けた者の e-mail アドレス、電話番号などを記載する。

図　　表：　カラーの図表を含めてよい。図表の配置や番号附番方法などについては特に規定を定めないが、例えば図 1、表 1 のように掲載する。

補　　注：　補注は、本文中に例えば[*2]のように書き、論文の最後にまとめて記す（本書式見本の最後の例を参照）。

参考文献：　参考文献は、本文中に例えば紫[1)]のように書いて引用するとともに、論文の最後に著者名、引用文献名、掲載誌名、ページ、発表年などをまとめる（本書式見本の最後の例を参照）。

上記の書式規定を逸脱しなければ、これ以外の部分の書式は各著者の判断に任される。書式規定に従わない原

Keywords：　交通安全，交通管理，道路計画
* 連絡先：　k_kaishu@saikyo-u.ac.jp
(Phone) 0987-65-4321 ext.1234

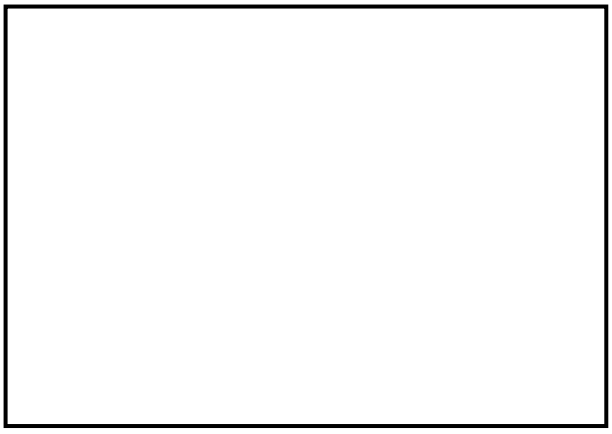

図 1　図の掲載方法（例）

表 1　表の掲載方法（例）

稿および判読困難な原稿は審査の対象とならないので、十分留意のこと。

３．PDF ファイル作成上の留意点

著者は(A)論文集用原稿と(B)審査用原稿の 2 種類の PDF ファイルを作成し、投稿する。

(A)は審査通過後に論文集CD-ROMに収録される完全版の原稿で、著者名等の記載を含む。(B)は(A)の全著者の所属・氏名および連絡先の記載（PDF形式書式見本の黄色部分）を削除し空欄にしたもので、これらの記載の有無を除いて(A)と同一の内容でなければならない。

PDF ファイルは Adobe Acrobat など PDF 作成機能を持つソフトウェアで作成する。その際、次の事項に留意されたい。

- PDF のバージョンは 1.3（Adobe Acrobat 4.x 相当）以上とする。
- ファイルの大きさは 5MB 以内とする。
- 論文中で使用するフォントは全てファイルに埋め込むこと[*3]。そうしないと、異なる環境でファイルを開いた場合に文字化けや文字落ちなどが生じる場合がある。
- 画像の解像度は、参考値として 300dpi 程度を推奨する。最終的なファイルの大きさと判読可能性を勘案し、適切な値を選ばれたい。
- 論文集CD-ROMに収録の際、論文誌名、論文番号、ページ番号などが挿入される。そのため、ファイルにセキュリティやパスワードを設定しないこと。「印刷」、「テキストとグラフィックの選択」、「文章の変更」、「注釈とフォームフィールドの追加と変更」などは許可すること。
- PDF文書のプロパティ（メタデータ）として作成者の名前や所属機関名、タイトル、キーワードなどを埋め込まないこと。Adobe Acrobatの場合は、「ファイル」メニューの「プロパティ…」を選び、「文書のプロパティ」画面の「概要」タブで、これらの情報が埋め込まれていないことを確認されたい。
- しおり、サムネールなどは設定しない。
- PDF ファイル内から外部の Web サイト、メールアドレスなどへのリンクは設定しない。これらのリンクは自動的に設定される場合があるが、忘れずに解除しておくこと。なお、同一論文ファイル内でリンク（本文から補注へ、など）を設定することは差し支えない。
- PDF ファイル名は、受付時点で適宜リネームされるが、アップロード時のファイルエラー等を考慮し、できるだけ半角英数字のみとすること。

ソフトウェアの操作・設定方法については、各ソフトウェアのヘルプやマニュアルなどを参照のこと。

４．発表申込・論文投稿の流れ

4.1　入会手続き

発表予定者が当会の会員でない場合は、まず入会手続きを行う。

4.2　Web サイト上での申込・投稿

研究発表会申込受付の Web サイト上で、次の手順に従い、申込内容を入力・送信する。

(1) 「申込内容の入力」画面で、入力フォームに所定の事項を入力する。また、アップロードする(A)・(B)両方の PDF ファイルを選択する。その後、「申込内容の確認画面へ」ボタンを押す。

(2) 「申込内容の確認」画面が表示されるので、内容を確認する。また、下部の「投稿済PDFファイル」をクリックして、アップロードされたファイルを開き、ファイルが正しく送信されていることを確認する。問題があれば「戻る」ボタンを押して(1)に戻る。

(3) 入力した申込内容とアップロードした PDF ファイルに問題がないことを確認したら、「申込を完了する」ボタンを押す。

(4) 「受付完了」画面で、受付番号とパスワードが表示される。後の審査料納付時と確認時に必要であるので、忘れないよう控えておく。追って受付完了の電子メールが自動送信されるが、これが届かない場合は受付が正常に完了していないので、申込を再度確認されたい。

4.3　審査料の納付

発表申込・論文投稿の完了後、審査料を、所定の期限までに、募集要項に記載の口座に郵便振替で送金する。払込用紙の通信欄には必ず「研究発表会審査料（受付番号：〇〇〇）」と書き、併せて発表予定者名（他の著者名や払込者名などは不可）を記入すること。

なお、期限までに審査料の納付が確認されない場合、投稿論文の審査は行われず、研究発表会での発表もできない。

4.4　必要書類の郵送は廃止

第 29 回（平成 21 年度）までは諸書類を当会へ郵送することが必要であったが、第 30 回（平成 22 年度）より廃止され、不要となった。

５．おわりに

発表申込・論文投稿や当会への入会手続きは、当会ホームページ（http://www.jste.or.jp/）の「オンラインサービス」からリンクをたどって行うことができる。

【交通工学研究発表会に関する問合せ先】

一般社団法人　交通工学研究会

〒101-0054　東京都千代田区神田錦町 3-23
錦町 MK ビル 5 階
TEL: 050-5507-7153 または 03-6410-8717
FAX: 03-6410-8718　e-mail: jigyo1@jste.or.jp
（担当：植田）

補注

*1 本ファイルは Windows 版 Word 2003、Word 2007、Word 2010 および Mac 版 Word 2008、Word 2011 で正常に開けることを確認している。

*2 補注が不要であれば、この部分はまるごと削除して頂いて結構である。

*3 Windows 版 Adobe Distiller 4 および 5 で MS 明朝・MS ゴシックを埋め込めない問題があるとの報告がある。詳細は次の Web ページを確認されたい。
http://kb2.adobe.com/jp/cps/214/214492.html
http://kb2.adobe.com/jp/cps/222/222071.html

参考文献

1) 紫式部：源氏物語，平安出版，pp.12-34，1987.
2) 交通事故分析センター（ITARDA）：イタルダ・インフォメーション，No.17，http://www.itarda.or.jp/info13/info13_1.html（アクセス：2008年12月14日）.
3) 大塩平八郎，ジョン万次郎：自発光中央線鋲がクジラの睡眠に及ぼす影響，科学特捜隊研究論文集交通編，Vol.32，No.1，pp.23-40，1998.
4) 織田，豊臣，徳川，明治，大正ほか：わが国における道路交通の変遷，仮想交通研究，No.123/Ⅳ-45，pp.56-67，2001.
5) 交通工学研究会：改訂 平面交差の計画と設計－基礎編，丸善，pp.34-45，2002.

（改訂：2011年4月1日）